

# かてきょう通信

「子育ては自分育て」～笑顔の子育てのために～

## 1年間ご協力ありがとうございました

春の光がやわらかく差し込み、子どもたちの表情にも次の季節を迎える準備が感じられるようになりました。この一年、家庭教育学級の運営にご尽力いただいた運営委員の皆様、また、活動に関心を寄せ、足を運び、日々の暮らしの中で小さな実践を重ねてくださった保護者の皆様に、心より御礼申し上げます。

今年度もさまざまな学びの機会がありました。家庭教育講演会では、式場敬子先生をお招きし、「子どもの気持ちを理解し、親の思いが届く効果的なコミュニケーション」をテーマにお話をうかがいました。“まず受け止める”“気持ちに名前をつける”“短い言葉で伝える”——そんなヒントが、ご家庭の時間を少しやさしく、少しあたたかくしてくれたのではないのでしょうか。

保護者同士の交流の場では、「同じようなことで悩んでいた」「その声かけ、今度試してみたい」といった言葉が自然に交わされました。日々の忙しさの中で、誰かの経験が自分の明日の力になる——そのやわらかなつながりが、学級の空気を支えてくれていたように思います。「正解」は一つではないけれど、「安心して話せる場」があることで、親も子も、ほんの少し肩の力を抜ける。そんな時間が、今年も随所に生まれたことでしょう。

一年を振り返ると、子どもたちはいつも、私たち大人が思う以上のスピードで成長しています。自分の気持ちを言葉にすること、相手の気持ちを想像して試みる、挑戦して試みる、そして、やり直して試みる。そのたびに揺れる心のそばに、保護者の皆さまが静かに立ち続けてくださいました。その姿勢こそが、なによりも大きな学びのお手本であり、“安心して失敗できる”という勇気の源でもあります。

新年度を迎える春は、期待と不安の両方がそっと同居する季節です。“楽しみ”も“心配”も、どちらも大切な気持ち。「そう感じたんだね」と受け止めることから、親子の会話はもう一歩先へ進みます。生活リズムをゆるやかに整える、支度の見通しを一緒に立てる、相談先を親子で共有しておく——そんな小さな準備が、安心の種になります。

この一年、家庭教育学級にお心を寄せていただき、深く感謝申し上げます。皆さまの存在が、子どもたちの学びと育ちの一番の支えです。来年度も、家庭・学校・地域が手を携え、子どもたちの笑顔と挑戦を、あたたかく見守ってまいりましょう。

### ◇お問い合わせ◇

印西市教育委員会 教育部 生涯学習課 推進係（担当 宮崎・關）

【電話】0476-33-4713 【FAX】0476-42-0033

★「かてきょう通信」は、印西市ホームページでもご覧いただけます。

印西市ホームページにて「かてきょう通信」と検索してください。



子育ては自分育て